

11. インターネットとマルチメディア社会

統計資料 「総務省 情報通信白書」

<http://www.johotsusintokei.soumu.go.jp/whitepaper/ja/cover/>

(1) インターネットの普及状況

日本のインターネット人口 _____万人 (2003年12月現在) (普及率 %)

世界のインターネット人口 _____万人 (2002年12月現在) (普及率 %)

日本のブロードバンド加入者数 (2004年8月現在)

合計 _____万件 → ADSL (_____万件) CATV (_____万件) FTTH (_____万件)

(2) 日常生活におけるインターネット利用

PC 1位:メール 2位:情報検索 3位:ニュース・天気 4位:商品やサービス購入
携帯 1位:メール 2位:音楽DL 3位:画像DL 4位:ニュース 5位:情報検索

影響 増加したもの→

減少したもの→

年代別のインターネット利用状況 10~30代 (_____%) 60歳以上 (_____%)

(3) デジタルディバイド (Digital divide)

ブロードバンドの地域別格差

→ 全国平均(_____%) 都市部(_____%) 町村部(_____%) 過疎地域(_____%)

年収別格差

→ ~200万(_____%) ~400万(_____%) ~800万(_____%) 800以上(_____%)

男女別格差 男性(_____%) 女性(_____%)

国別格差 15%の高所得国 (世界の _____%)

(4) ビジネスへの利用 … 電子商取引 (Electronic Commerce) → BとCの連携

BtoC

CtoC

BtoB

(5) 変わる社会生活

①売り方・買い方が変わる (デジタルデータの切り売り)

②広告が変わる

バナー広告、広告メール、広告専用サイト

③銀行が変わる

ホームバンキング

ネットバンキング

④教育が変わる (eラーニング)

WIDE 大学 SOI (school of internet)

⑤生活スタイルや価値観が変わる

SOHO (Small office Home office)